

ハリエツト・
ポッターと

催眠

セックス



授業中の態度が不真面目だと指摘され
罰則を受けることになった僕は
薬学教室へ足を運びました

失礼します

ゴッ
ゴッ

ガッ
ガッ

ぷる
ぷる

表面上は真面目にしているつもりですが…
けれど罰則を受けないという選択肢は
残されていません
受けなかったら寮から減点されるから

むち。

こんな理不尽な罰則
さつさと
終わらせてしまおう

スネイプ…先生
罰則を受けに

ぷる
ぷる

身体が熱くなって…
胸や下半身がむずむずと
疼いてしまいます

そう思って室内に入ったものの
突然意識がぼんやりと
してしまつて…

来ま…した…

アッ

ニギミ

いつの間にか
目の前に立っていたスネイプを
ただ見上げていると

先…生…？



跪け

…はい



命令のように言い渡され
絶対言いなりに
なりたくないのに

自分の意思とは関係なく
咄嗟に跪いていました



ベルトを外す金属音が聞こえた直後
勃起したちんぽが目の前に曝されました



ひっ…！

舐める

悲鳴を上げようとした直前に
一言告げられました

セクッ



ちんぽを…なめる…

そうだ
お前はコレが好きだろう

…そうでした
僕はスネイプの勃起した
ちんぽが大好きなんです



どきっ

大きくて臭くて
恥垢もたっぷりついていて
汚らしい勃起ちんぽ

気持ち悪い
心のどこかでは
そう思っているのに

ぢゅ、

その衝動に逆らうことなく
喉奥まで啜えてしまいました

思いつきり
むしやぶりつきたいと
思ってしまったって

舐め…ます…♡

ああ
早くしろ

そして僕は

言われてないのに
何故か自ら服まで脱ぎだして

舐めると言っておいて
啜え込んでおるではないか

だって先生のちんぽ
凄く美味しそうで
我慢できなかつたんです♡

んぐっ♡

んっ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡
ぢゅ♡
ぢゅ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡

ぢゅ♡

じゅるっ♡

ぢゅ♡

んぐっ♡

丹念にしゃぶつたら
汚い恥垢…
チンカスを舌の上に乗せて

スッポ
スッポ

臭いし苦いし不味い
なのに抗えない多幸感に
どっぷりと浸かって…

まさかこれで
終わりと言うまいな？

スネイプのちんぽに
もっとご奉仕したいと思うように
なっていました

お口の上でよく広げて
味わった後に飲み込みます

フグッ
フグッ

んぐっ…
ごくん…

何言ってるんですか…
まだまだ終わりませんよ

むしろ
これからです

さっきよりも
いきり立ったちんぽに
たっぶりの唾液を絡ませて

ぐるる
ぐるる

ねっとり舌を絡めおって…
いやらしいものだな

ぐるる
ぐるる

熱い舌で丁寧に
亀頭を舐めまわします

そのまま四つん這いになって
スネイプの勃起ちんぽを
奥深くまで咥え込んで

ぐんぐん

徐々にスカートも
脱いで下着一枚のみの
真っ裸になってしまいました

ぐんぐん
ぐんぐん

じゅる

唾液たっぶりの口内で何度もしごきます

ぐんぐん
ぐんぐん

ぐんぐん
ぐんぐん

ぐんぐん
ぐんぐん

ぐんぐん



大量のザーメンが
口の中……そして喉奥に出されました
熱くて苦くて今にも吐き出して
しまいたい筈なのに



口内に満遍なく広げて
たっぷりと味わってから
飲み干してしまいます

おまんこじんじんって
疼いちゃう……♡

先生の新鮮なザーメン
すごくおいひれす……♡



ずぼずぼって
おまんこ弄られてるりゅっ♡

ぐりぐりしないです♡



おっ♡

おまんこに指がっ…♡



下着を脱がされて
足をぱっくりと割られて
ナカを弄られます



くるっ♡

イツちやうっ…♡



やっ♡

そんな事を言っておきながら
よがっておるではないか



絶頂に浸っておる
暇はないぞ



あっ…♡

はあっ…♡

初めてのアクメの快感に浸ってしまったって
身体は小刻みに痙攣したままです



言葉に従って上を向くと
キスをされました



アクメしたばかりなのに
また弄り抜かれて
イってしまいます



舌を吸われたり
口内で絡め合わせたり

ねっとりとした
唾液たっぶりの激しいキス



またイったのか：
敏感な身体をしおってからに

ほれ
上を向け



スネイプのちんぽは好き…ですが
本人の事は好きではありません
それなのにドキドキしてしまっていて…

ようやく唇が離された頃には
すっかり息も上がっていました



おまんこのひだを
何度も擦られて
僕はまた――



おまんこに熱い亀頭が
何度も擦りつけられて

早くっ♡



いったか...



おちんぼ挿れてくらしさい♡

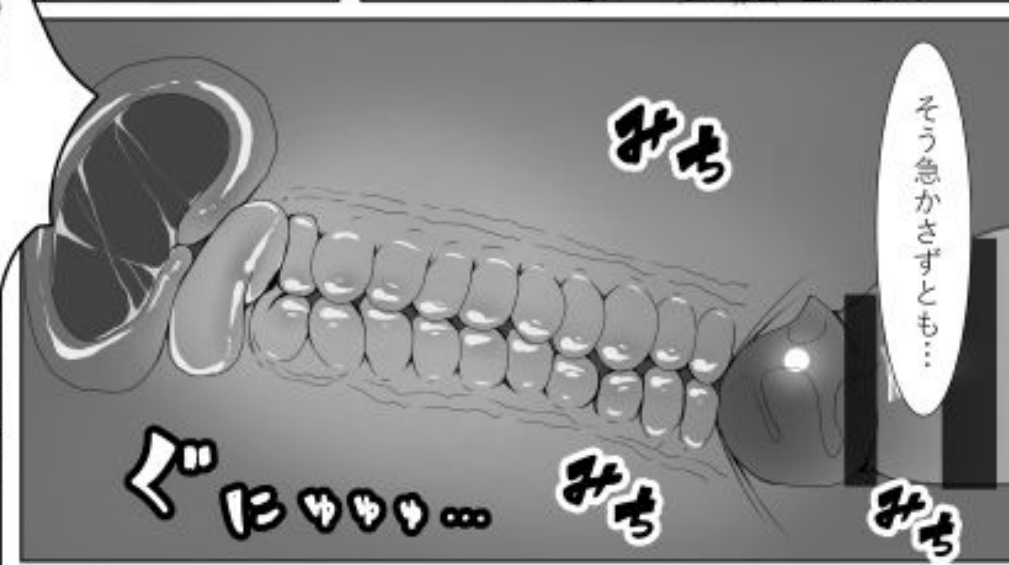
早くっ♡

はしたなくも腰を
振りたくってしまいます

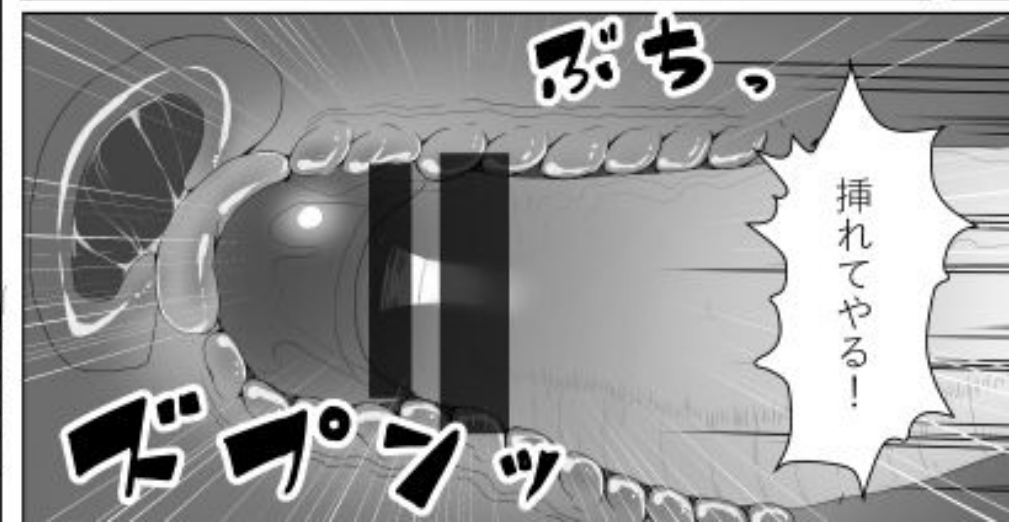


そろそろ挿れるぞ

ニヤ



そう急かさずとも...



挿れてやる!





お願いしま...

先生♥早くう♥



す...



一度催眠を解いてみるか

おまんこ
もっと突いてください♥



今...スネイクのちんぽが
僕の膣内に挿入されているということ



突然：霧が晴れたように
意識がクリアになりました

何これ...

思い出すのはこれまでの淫行と

一体...どうして...

抜いてほしくて必死に懇願しますが
勃起したちんぽをおまんこから
抜いてくれることはありません

やだっ…先生抜いて！

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

抜けてば…！

恐らく催眠の魔法を掛けられていたのでしょう
意識がハッキリしているので今は解けている筈
それなのに身体は言う事を聞かなくて…

逃げなきゃ…！
なのに…

なんで身体…
言う事聞かないの…？

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ツ…そろそろイきそうだ
ナカに出すぞ…！

絶対に淫乱
なんかじゃないっ♡

絶対違うっ♡

今は魔法を掛けとらん
身体が淫乱なだけだろう！

そんな事っ…ないっ…♡

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

やっ…やだ！

おまんこの中に熱い精液をどっぶり注ぎ込まれて嫌なはずなのに身体が悦んでしまっている事を自覚します

ッ…♡
膣には出さないでって…
言ったのに…っ

ビクッ

ひん…

ビクッ

まだまだ付き合ってもらうぞ

ゴクッ

う…嘘っ!?

ゴクッ

やだ!
もうやめてくださ…

ゴクッ

ゴクッ

射精したにもかかわらずすぐに硬くなった勃起ちんぽで膣内を何度も何度も突かれます

ゴクッ

ゴクッ

ゴクッ

ブル

ゴクッ

そのたびに思考が飛んでしまうくらいの快楽が脳を支配して全身を駆け巡ります

ゴクッ

ゴクッ

ゴクッ

ゴクッ

ゴクッ

それからはいくたびに体位を変えられ
強制的に何度もアクメさせられました

快楽に素直なおまんこを
ちんぽで苛め抜かれます



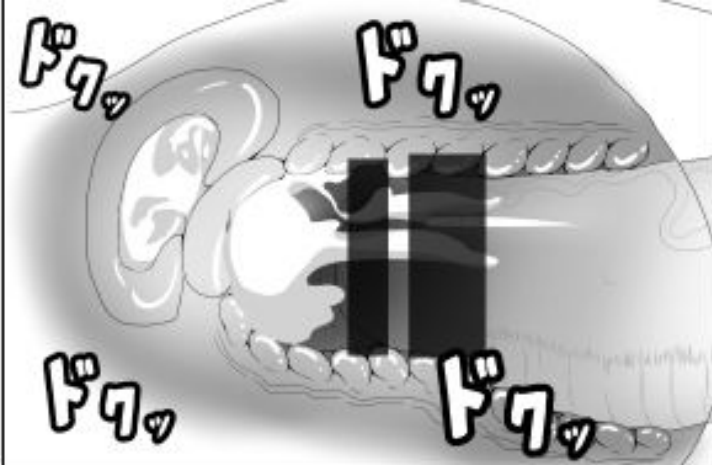
バックや騎乗位や駅弁：
がに股のような恥ずかしい
ポーズまでさせられて

勿論ザーメンはすべて
膣内に注がれてしまいました

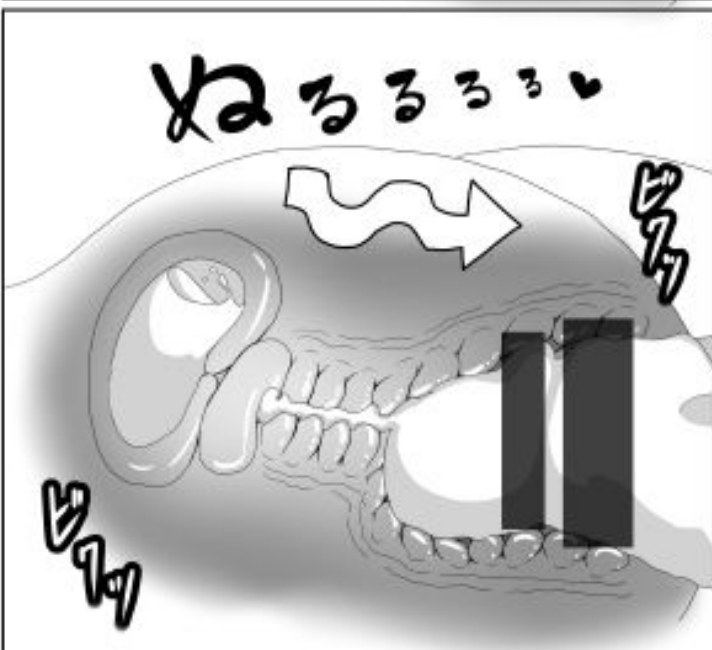


またまたイキます

子宮口に精液を塗りたくるようにぐりぐりと押し付けられた後



おまんこに挿入されていたちんぽが音を立てて引き抜かれていきます



初めてのセックス…しかも相手はスネイプで…
それなのに気持ちよくて
すっかりちんぽの虜になってしまいました

おっ…♡

ドクッ

おまんこから
ザーメン溢れちゃう…♡

ドクッ



ポッター

ドクッ

ドクッ

今日はこれくらいで許してやろう

明日からも付き合ってもらおうぞ

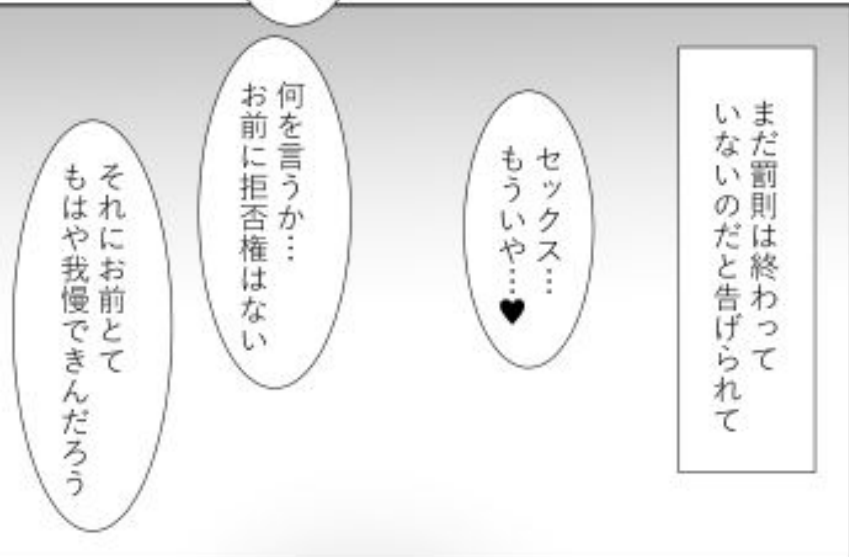


まだ罰則は終わって
いないのだと告げられて

セックス…
もういや…♡

何を言うか…
お前に拒否権はない

それにお前とて
もはや我慢できんだらう



直後に意識が
ぼんやりとしてしまい…

僕は眠るように気を失いました



ハリー！



あ…
ハイマイオニー…



あれだけ淫らな罰則を
受けたのに
僕は誰にも言えませんでした

昨日寮に戻ってきてから
ずっととうわの空だけど…
どうかしたの？

…いや
何でもないよ



しいて言うなら
昨日の罰則でちょっと疲れてるくらいかな

でも大丈夫だよ

そう…ならいいのだけど

…いや 言えなかったのではなく
言わなかったのです



あつ…スネイプよ

廊下で会うなんて最悪…
昼から薬学の授業があるのだから
見たくなかったわ

カツ

カツ

ポッター



はい



だって



あんなに気持ちイイコトを知ったんですから♡

ゴゴゴ

♡…♡

ゴゴゴ

放課後
薬学教室まで来るように

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

先日の罰則の続きだ

カッ

カッ

?

何よ嫌味な奴！
罰則の内容くらい
一日で済ませられるものを

ゴキッ

ゴキッ

放課後…
イかなきゃ…♡

ゴキッ

考えておきなさ…
ハリ…？

今日の罰則も楽しみです♡

ゴキッ



先生…
もっとお願いします♡

…止めなくていい事は
わかったけれど



…セックスってそんなに
気持ちいいのかしら…



あんなに乱れて…
沢山出されて…



放課後…
罰則を受けるために
地下牢へ向かいます

ゴッ

ゴッ

いつものようにさっさと
終わらせよう

そう思って
教室に入ったのですが…

失礼します

ギイイ

それに身体も火照り
むずむずしてきて…

スネイプ先生
罰則を受けに…

教室内に入ると
気分がぼんやりとしてしまいます…
いつもはこんなことはないのに…

来ま…した…

いつの間にか
スネイプが目の前に立っていました

ベルトを外す音が
聞こえたかと思うと

僕はいつの間にか
跪いていて

勃起したちんぽが
目の前に曝されました

ぶるぶる

悲鳴を上げるべきなのに
湧きあがった生唾を
ごくりと飲み込んでしまっていて――

セクッ

お前の好きなベニスだ
舐めても良いぞ

はっ♡

はっ♡

ハッ♡
ハッ♡



こんな汚いもの吐き出した
頭の片隅ではそう思うのに…

恥垢は好物だろうか？

ひゃい♡

しっかりと食べるのだぞ

スナイプに言われて
チンカスが好きだったことを
思い出しました

濃厚なチンカスチーズは
生臭くてしょっぱくて

はんううっ♡

でもとっても
美味しいです

んう♡

綺麗になりまひたあ…♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

頑張ったな

褒められると嬉しくなって
もっと頑張りたくなります♡

そのまま吸い付いて
喉奥まで啜えるんだ

ねっとり絡めながら
頭を前後しろ

ちんぼは
どんどん大きくなります

♡♡♡

んうう♡

んぶっ♡

とても息苦しいのに
おちんぼにご奉仕するたびに

♡♡

♡♡

♡

おまんこが
じんじんしてしまいます♡



で…出るぞッ…!

お口の中に大量のおちんぼ汁が
どぶどぶと出されました



よく味わってから飲み干せ

苦いのに雄臭いそれに
うっとりしてしまいます

臭くて苦いのに…
美味しい…♡





はっ

はっ

はっ

はっ

足を開け

ひゃ〜

すっかり濡らしおって...

んっ

あっ

あっ

はっ
あっ

触っておらんに

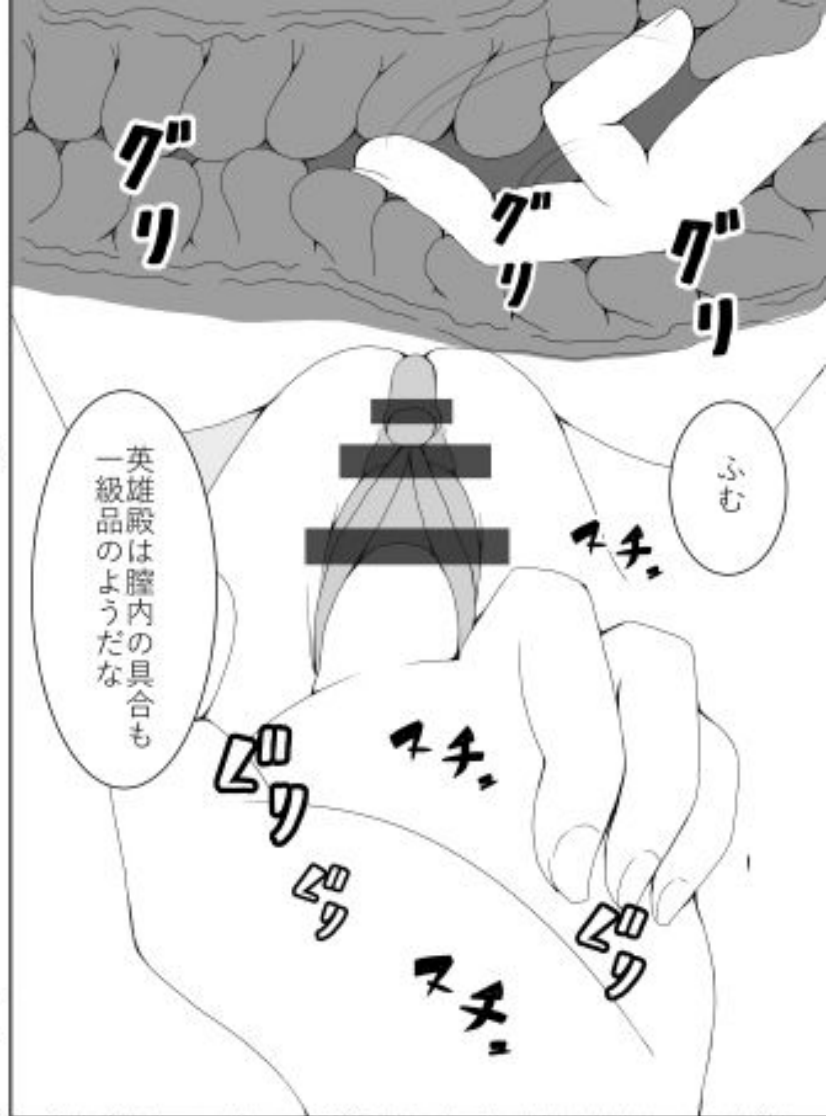
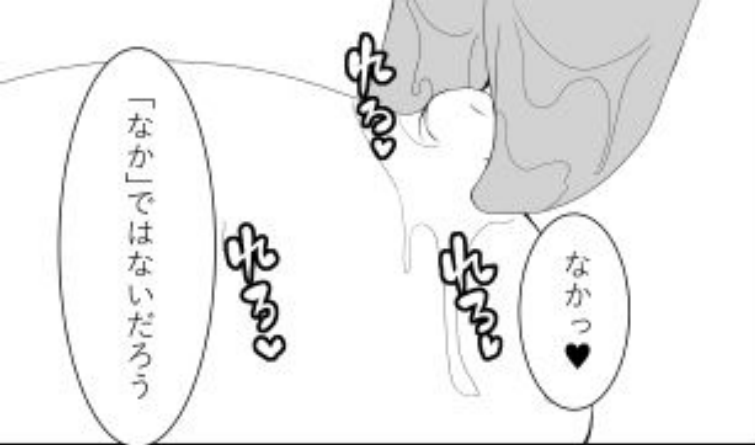
ぐっしよりだな

物欲しげに
汁が溢れておるぞ

ああっ

そっ

あっ





びったりと添えられたちんぽを
求めるように腰を突き出して――

はー

はー

あっ…♡

はっ♡

ちんぽがあっ♡

ぶちっ

初めてのおちんぽの味に
頭がおかしくなってます♡

痛いはずなのに気持ちいいだけで
全身の甘い震えが収まりません♡

先生のちんぽ♡

おまんこに入ってる…♡

ぐにゅゅゅ…

んおおっ♡

ポポポッ

おっ♡ おぐっ♡

おちんぽ♡

くるぅ♡

ポポポ

ポポポ

ポポポ

ポポポ



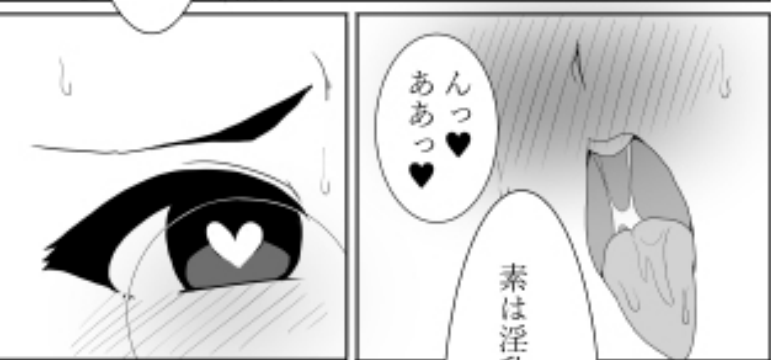
んおっ♡

んほっ♡



セックスしたくなるよう
催眠をかけたものの

よもやここまで乱れるとは...



んっ♡
ああっ♡

素は淫乱ということか...



我慢できんのかね
堪え性のない奴め

あっ♡

パシッとお尻を叩かれて

ポッポ

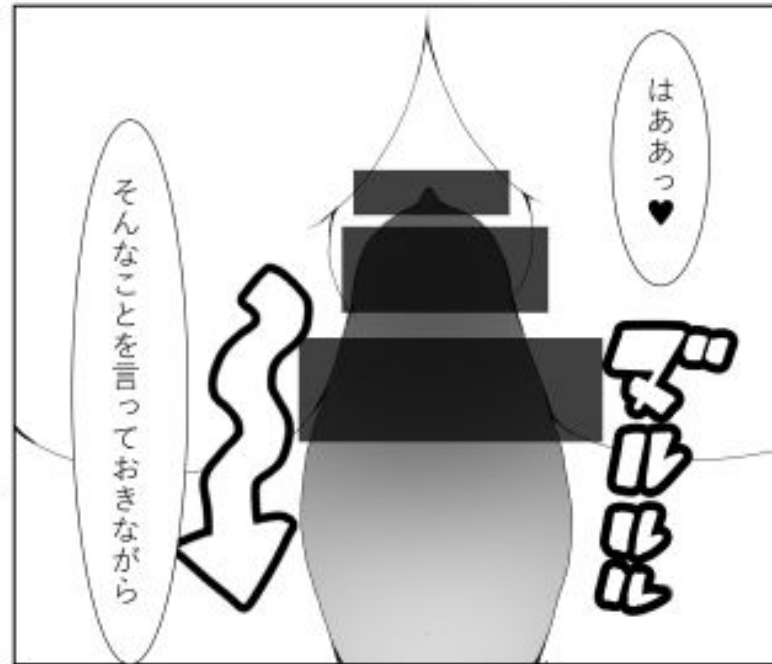
ポッポ

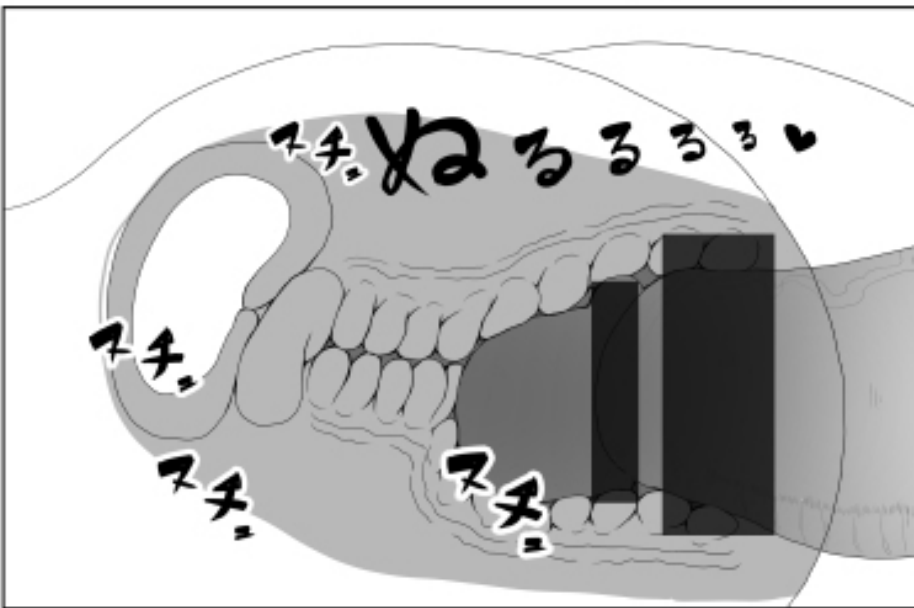
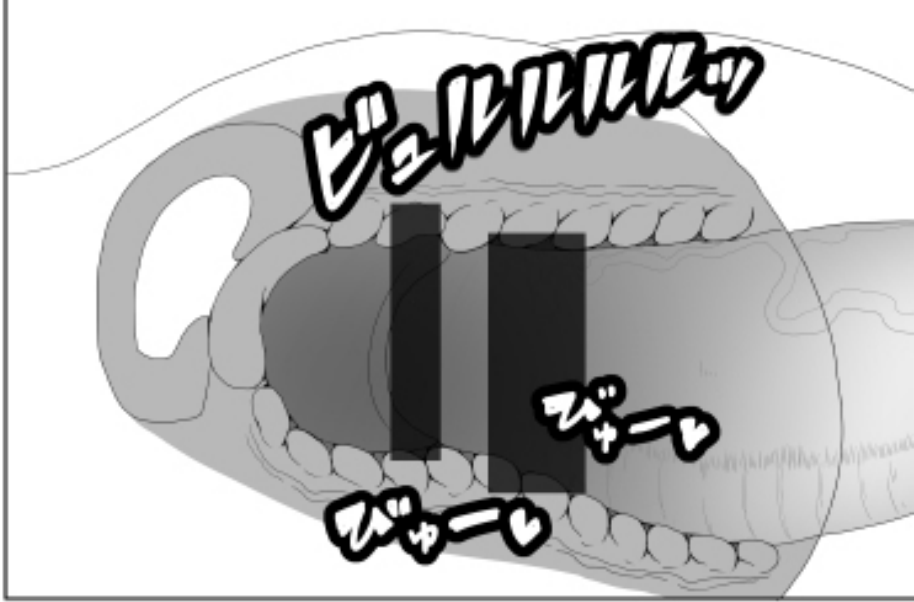
ポッポ

それでもおちんぼでいっぱい
突いてほしくてたまりません♡

んほっ♡



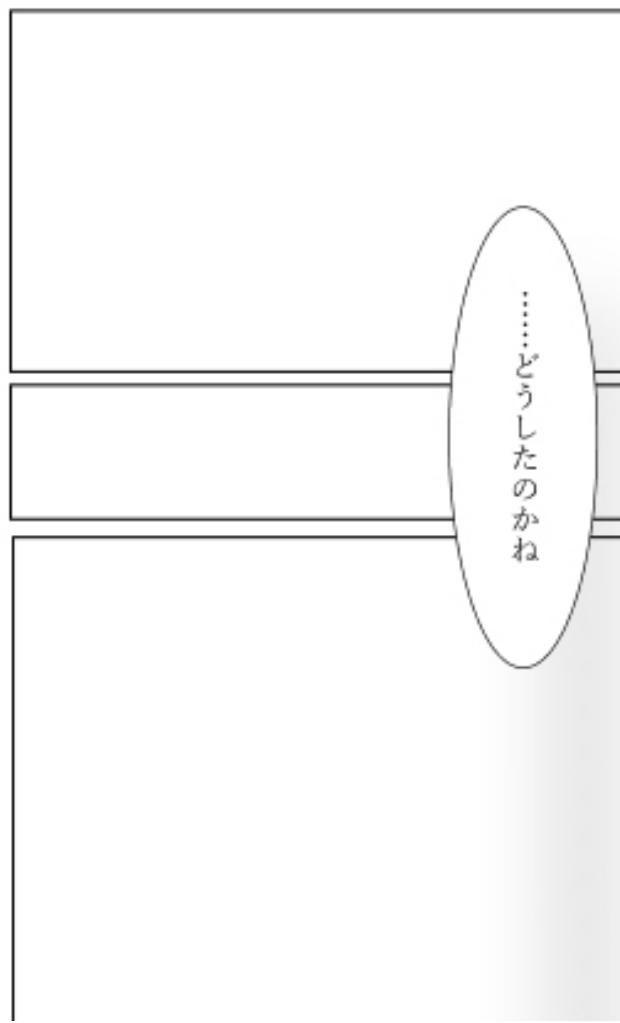




おまんこの中は
大量のおちんぼ汁でいっぱいです……♡

はーっ……♡

はーっ……♡



……どうしたのかね

スネイプはにやにやしな
問いかけてきます
でもあんな甘美な快楽を知ったら
もう抜け出せなくて——



僕は——